

“フューチャー・デザイン”から 見る将来の地域づくりと政策立案

将来世代の視点から議論をするフューチャー・デザインは、目指すべき社会の実現のために今何ができるのか、将来に向けた前向きな考えが自然に生まれてくるのが特徴です。

これからの地域をつくるための将来像を考える思考を知り、計画・政策立案へとつなげる方法を学びましょう！

2024年

3月8日(金) 14:00~16:30

参加無料

@新庄エコロジーガーデン (zoom配信あり)

【講師】

一般社団法人フューチャー・デザイン代表理事 西條 辰義 氏

フューチャー・デザインの提唱者。ミネソタ大学大学院経済学研究科修了。

Ph.D.(経済学)。オハイオ州立大学講師、カリフォルニア大学助教授、筑波大学教授、大阪大学教授、一橋大学教授、高知工科大学等を経て、総合地球環境学研究所・名誉フェロー。現在、京都先端科学大学特任教授。専門はフューチャー・デザイン。

著書は『フューチャー・デザイン』『フューチャー・デザインと哲学』(編著・勁草書房)、『地球温暖化の経済学』(共著・大阪大学出版会)、『排出権取引』(共著・慶應義塾大学出版会)など多数。



【プログラム】

1. 講演 (60分)

将来を見据え持続可能な地域をつくるため「フューチャー・デザイン」の考え方、自治体での導入事例、将来に向けた地域づくりを学ぶ

2. ワークショップ (90分)

実際にフューチャー・デザインにより未来人となり、現代の課題を議論し、将来のために何ができるのかを体験、学ぶワークショップ



セミナーで学べること

- ◆次々世代まで見据えた計画策定方法
- ◆住民と行政が立場を超えてともに考える仕組みづくり
- ◆住民主体の地域づくりの方法

【会場】

新庄エコロジーガーデン
多目的ホール
(新庄市十日町6000-1)

【申込み】

QRを読み取り
専用フォーム
から申込み



【定員】

会場30人
オンライン100人

【申込締切】

3月4日(月) 17時

※オンラインは講演のみ配信



フューチャー・デザインとは？

現代を生きる私たちが、未来に生きる私たち＝“未来人”の立場(視点)で、社会をデザインすること。未来のまちの姿を想像し、対話することで、今やるべきこと(やるべきでないこと)、新しく始めるべきことが見えてきます。

近年、自治体の意思決定や住民参加型のワークショップなどで活用されています。